

教育委員会会議録

日 時	令和5年12月13日（水） 10時45分～11時30分	
場 所	阿久比町役場 会議室101	
出席委員	教 育 長 竹内 淳	職務代理者 中條屋 由香里
	委 員 稲葉 清仁	委 員 竹内 賢司
	委 員 竹内 比名子	
欠席委員	なし	
出席した 職 員	教 育 部 長 中川 学	社会教育課長 山内 秀明
	指 導 主 事 万年 誠治	指 導 主 事 小浦 正寛
	学校教育課長補佐兼給食センター所長 新海 美智	
	学校教育係長 生田 望	
作 成 者	庶 務 係 長 市川 裕也	

1 前回教育委員会議事録確認

2 教育長報告

3 議事

（1）幼保小中一貫プロジェクト 次年度の方向性について

（2）その他

4 報告及び連絡事項

（1）後援名義使用許可等一覧について

許可 2件

実績報告 8件

（2）令和5年度図書リサイクルフェアの状況について

（3）教育委員行事日程について

（4）その他

【令和5年12月13日（水）開催の教育委員会会議 会議録】

1 前回教育委員会会議議事録承認

2 教育長報告

（竹内教育長）

- 総合教育会議についての御礼。
- 12月26日に子どもサミット、1月5日には書初め大会、7日には二十歳の祝典等イベントの案内と出席をお願い。
- 地域部活動の進捗状況の報告。教職員の働き方改革、平日と休日の部活動の在り方と指導者選任の難しさの問題の共有。
- 給食の原材料費の高騰について。物価上昇分は町が補填し、給食費の値上げは現時点ではする予定なし。今後さらなる原材料費値上げの可能性もあるので検討が必要。
- 高校入試への「Web出願」について。紙からWebに変わり、当面は中学校の負担もチェック等があり大きいと思われる。

3 議 事

（1）幼保小中一貫プロジェクト 次年度の方向性について

< 要 約 >

（小浦指導主事）

現状、「企画委員会」「事務局」を中心として4つの部があるという形で組織されている。時代に合った活動の充実のため、町の抱えている課題のうち、「体力・運動能力、運動習慣等の状況」と「国際社会の中で役立てる一定のコミュニケーション力をもつための、実践的な英語力向上」の2点について新たな柱としていくことを報告。

来年度以降については「小中接続部」「幼保小接続部」を1つにまとめ、「幼保小・小中接続部（仮称）」とし、英語教育と体力向上の部を設置する。「特別支援教育部」は一貫プロジェクトからは独立して、町全体として引き続き実施し、通級指導部会や特別支援教育指導員と連携していく。

今後は1月までに各部局の総括を実施する。2月までに事務局の南部小学校にて全体の総括および来年度の担当校の決定をし、3月には次年度の役割を決定する。4月より新たな枠組みで活動を開始する。

< 質 疑 >

（稲葉委員）

一朝一夕で解決する問題ではないため、工夫をしつつ、愚直にやっていくしかないのだと思う。但し、「このような人を育てたい」という事は明記するのだと思うが、例えば「目標値」のようなものは明記しないのだろうか。

(竹内教育長)

目標値をつけてしまうと、教職員の方々が「やらされている」と感じてしまうこともある。成果を上げろという形にすると、「子どもたちのために」という面ではないところが出てしまう。少しでも一歩ずつ、目標として、昨年よりも出来るようになったというようなことを実感できるような形にしたい。体育で言えば、持久走等は今もやっているが、例えば部活動もどんどん縮小されていたり小学校のクラブ活動もなくなっている。外で遊ぶことも少なくなった。その中で、少しずつ良くしていこうと思っている。そのために「これくらいの内容をやる」というカリキュラムをきちんと確立化させたいと考えている。

(稲葉委員)

その目標を、先生がもつ、親がもつではなく、主体を変えて、子どもたち自身の目標として、本人の事として自覚させ、結果的に「何位を目指したい」という目標値ではなくて、「ここまでやれるようにしよう」という目標設定をしていけるようになると、先生たちからはとりあえず「やらされている感覚」はなくなって良いのではないかと思う。

(万年指導主事)

正に現在、体育部会で調整している。来年度の体力テストに向けているところもあり、子どもたちが何の目標も持たずにただ体力テストをやるから面白味がなく、高まりも分からず、というところもあると思う。それを「見える化」し、例えば昨年度の点数を明示して、「今年あとのどのくらいの記録を取ると○点になるよ」というものを分かり易くして、児童が過去の自分と目標の自分とを理解して、自分の目標設定が出来るようなシートを作ろうとしている。子どもに目標を任せる、子どもに目標設定させる、過去の自分と今の自分と将来の自分を見比べさせるっていうことを段階的に継続してできるようになったら良いと考えている。

(中條屋職務代理)

「体力運動の運動習慣等の状況・結果」にある数値はいわゆる総合的な体力の数値と考えれば良いのか。

(小浦指導主事)

各種目別の点数では、県・知多地域全体、阿久比町全体でも比較できるが、資料は全体的なところとして総合の点数が記載されている。

(中條屋職務代理)

学校教育の中で、体力増強もちろん大事なのだが、幼少期からの過ごし方というか、そういう部分にも、町として何かアプローチできることがあれば良いと思う。

話は少しそれるが、昔はそれこそ放課後の時間に遊ぶということもあったと思うが、放課後の時間について、校庭の開放等はされているのか。

(竹内教育長)

昔と違って、下校時刻であったり、交通事情があったり、不審者の問題があるので、帰ってきてまた学校で遊ぶということはされていない。勿論、放課後クラブ等、学校に残ってる子たちが遊ぶということはあると思うが。

(中條屋職務代理)

地区によっては、子どもが道で遊んでいるとか公園でボール遊びしているとか苦情が出ていたりするようで。本当にその体力を作る場が限られているということも課題かなと思う。他市町村の事例等も参考にしながら、授業の工夫を考えていかなければならないのかなとも思う。

英語についても、そもそもコミュニケーションが控えめで、自分の言葉で表現をする力ということがすごく課題になっていると思う。町内小学校で工夫をされているということを聞くと、また幼保小中一貫教育の中でもまた検討して頂けると良い。

(竹内教育長)

勿論何事にも取り組むのだが、幼保小中一貫教育を組み直す中で、柱としては何を選択していくかという問題になる。今回、柱から外れる特別支援教育にしてもとても大切なことで、疎かにすることではなくて、特別支援の子どもが増えている状況の中で「幼保小中一貫教育の中で」ということではなく、何を目標として特別支援教育をしていくのかが大切。

今回、新たに2つの柱を設定するにあたり、学校教育ではその5つの柱以外にも、中條屋委員が言われるようにコミュニケーション能力の向上に関しての取り組みも進めていく必要はある。通常の授業の中で取り組み、進めていきたいと考えている。

< 採 決 >

全委員、「異議なし」

4 報告及び連絡事項

○ 後援名義許可等一覧について

(1) 許可 2件

- ・東京海上日動あんしん生命保険㈱「マネークエスト」
- ・阿久比町吹奏楽団「第9回定期演奏会」

(2) 報告 8件

- ・オペレッタ「天国と地獄」
- ・阿久比町制70周年「あぐいふれあい盆踊りの夕べ」
- ・(公財) 半田法人会「2023年 税に関する絵はがきコンクール」
- ・知っ多マンドリーノ「創立20周年記念 第10回定期演奏会」
- ・愛知県弁護士会「令和5年度『法の日』記念事業」
- ・日本福祉大学「作文コンクール 2023年知多の子どもたちからのメッセージ」

- ・半田少年少女合唱団「第44回定期演奏会」
- ・知多友の会「家事家計講習会」

○ 令和5年度図書リサイクルフェアの状況について

令和5年11月9日（木）から19日（日）までに実施したリサイクルフェアの結果の報告。

○ 教育委員行事日程について

- ・学校教育課 1月～3月分の行事日程を説明。
- ・学校教育課 12月14日（木）、1月19日（金）の地教委面談は教育長が出席。
- ・社会教育課 1月開催予定イベントの案内。

○ その他

- ・学校教育課 阿久比町小中学生国際交流事業 事業終了の報告。
- ・中川教育部長より 12月議会について説明。